

グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）

設定日：2014年11月5日

償還日：2024年8月19日

決算日：原則、毎月17日

収益分配：決算日毎

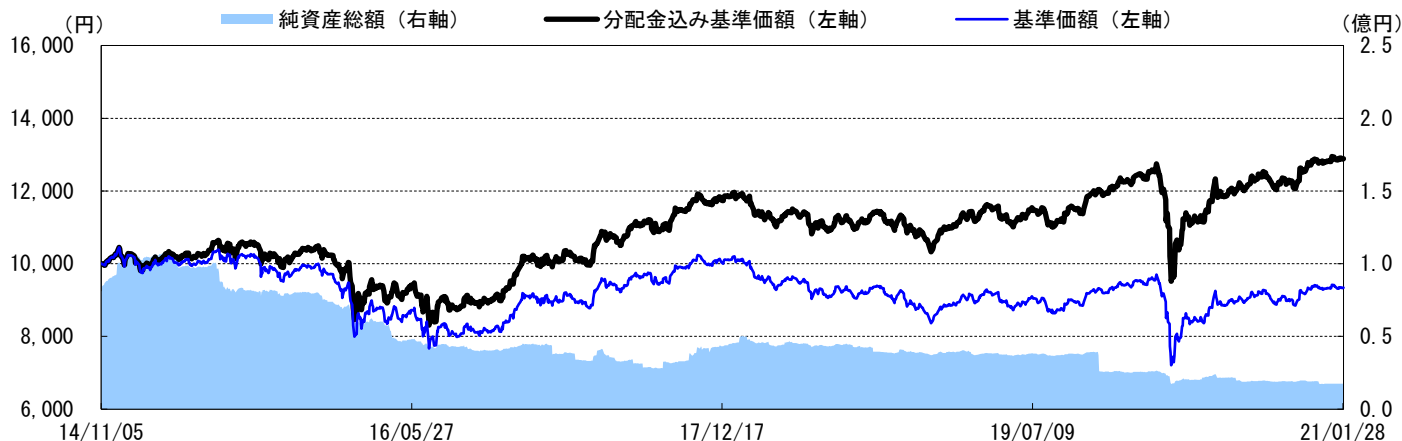
基準価額：9,338円

純資産総額：0.17億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

＜資産構成比率＞

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファン ドアンヘッジド・クラス	94.7%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

＜基準価額の騰落率＞

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
0.45%	6.68%	7.33%	4.54%	9.87%	28.86%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	20・2・17	20・3・17	20・4・17	20・5・18	20・6・17
2,960円	480円	40円	40円	40円	40円	40円
20・7・17	20・8・17	20・9・17	20・10・19	20・11・17	20・12・17	21・1・18
40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

＜基準価額騰落の要因分解（月次ベース）＞

前月末基準価額	9,336円
当月お支払いした分配金	-40円
要	
インカムゲイン	37円
キャピタルゲイン	-36円
為替要因	50円
因	
その他	-9円
当月末基準価額	9,338円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）

設定日：2014年11月5日

償還日：2024年8月19日

決算日：原則、毎月17日

収益分配：決算日毎

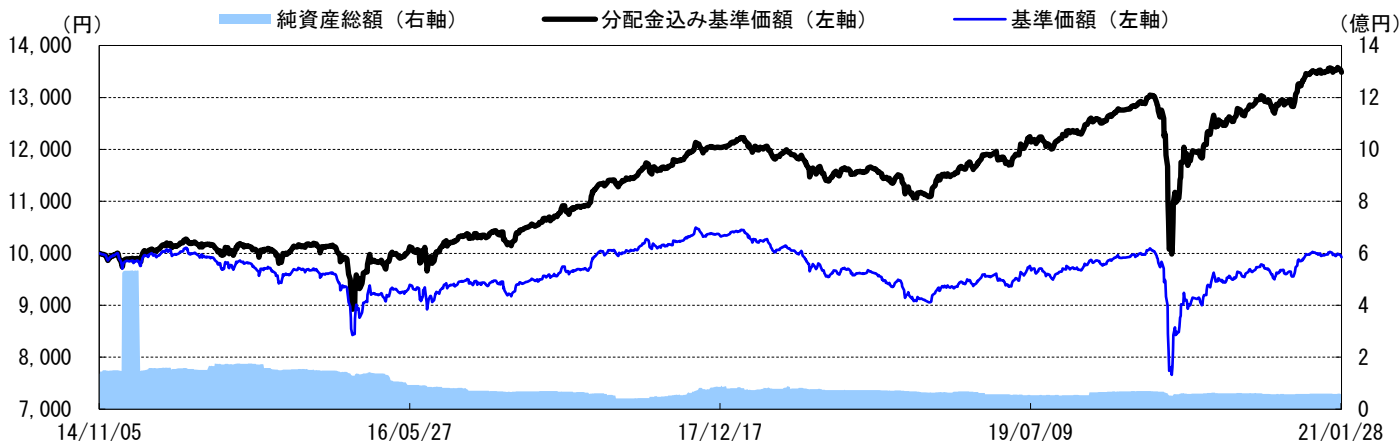
基準価額：9,923円

純資産総額：0.59億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

＜資産構成比率＞

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス	95.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-0.09%	5.09%	6.45%	4.64%	10.87%	34.82%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	20・2・17	20・3・17	20・4・17	20・5・18	20・6・17
2,960円	480円	40円	40円	40円	40円	40円
20・7・17	20・8・17	20・9・17	20・10・19	20・11・17	20・12・17	21・1・18
40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

＜基準価額騰落の要因分解（月次ベース）＞

前月末基準価額	9,972円
当月お支払いした分配金	-40円
要因	
インカムゲイン	30円
キャピタルゲイン	-29円
その他	-10円
当月末基準価額	9,923円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

※アルジェブリス（UK）リミテッドより提供された当外国投資信託における数値です。
 ※「証券種別構成比率」以外の各項目の比率は、組入証券の時価総額比です。

＜証券種別構成比率＞

CoCo債	83.6%
優先証券	0.3%
期限付き劣後債	2.5%
現金その他	13.6%

＜組入上位10カ国＞

イギリス	27.4%
フランス	20.7%
スペイン	17.7%
イタリア	13.6%
スイス	10.7%
オランダ	6.5%
ドイツ	2.6%
アメリカ	0.7%

＜組入上位5通貨＞

アメリカドル	53.4%
ユーロ	33.2%
イギリスポンド	13.4%

＜組入上位10銘柄＞（組入銘柄数：68銘柄）

	発行体	償還日	利率 (%)	通貨	種別	比率
1	CREDIT AGRICOLE SA	-	7.875	アメリカドル	CoCo債	6.5%
2	BNP PARIBAS	-	7.375	アメリカドル	CoCo債	4.8%
3	SOCIETE GENERALE	-	7.875	アメリカドル	CoCo債	3.6%
4	UBS AG	-	6.875	アメリカドル	CoCo債	2.8%
5	LLOYDS BANKING GROUP PLC	-	7.5	アメリカドル	CoCo債	2.7%
6	ING GROEP NV	-	6.5	アメリカドル	CoCo債	2.7%
7	UNICREDIT SPA	-	8	アメリカドル	CoCo債	2.6%
8	HSBC HOLDINGS PLC	-	5.875	イギリスポンド	CoCo債	2.5%
9	INTESA SANPAOLO SPA	-	5.5	ユーロ	CoCo債	2.4%
10	BANCO SANTANDER SA	-	4.375	ユーロ	CoCo債	2.4%

※個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

＜格付別構成比率＞

AAA	0.0%
AA	0.0%
A	0.7%
BBB	42.3%
BB	51.6%
B	5.5%
CCC以下	0.0%
無格付	0.0%
平均格付	BB+

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

＜ポートフォリオの特性値＞

平均利回り	3.89%
平均デュレーション	3.75年

※平均利回りは、組入証券部分について最低利回り*を基に算出された概算値です。信託報酬等は考慮されておらず、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

*多くのCoCo債には、早期償還（コール）条項が付与されています。コール条項が付与されている債券の場合、その期待利回りは、コールされることを想定した場合と満期償還されることを想定した場合で異なります。それらのうち、低い方が最低利回りとなります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

1月のCoCo債市場はほぼ横ばいでした。

当月欧州株式市場は概して下落しました。ドイツの鉱工業生産が市場予想を上回ったことや、米国にて新政権が発足し、大規模な追加経済対策やインフラ投資の拡大、新型コロナウイルスのワクチン普及が期待されたことなどが株価の上昇要因となったものの、ユーロ圏の総合購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を下回ったことや、欧州における新型コロナウイルス変異種の感染拡大や新型コロナウイルスワクチンの供給遅れの発生、また、厳しい行動制限の長期化による景気回復の遅れへの警戒感などから、株価は概して下落しました。

また欧州債券市場では、各国の10年国債利回りは前月末比で総じて上昇（債券価格は下落）しました。ドイツのIFO企業景況感指数が市場予想を下回ったことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となったものの、欧州中央銀行（ECB）理事会の声明文にパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）を限度額まで利用するとは限らない旨が明示されたことでECBによる追加金融緩和期待が後退したことや、米国新政権下での大型財政支出実施の可能性の高まりを受けた景気回復期待などから、利回りは総じて上昇しました。

このような市場環境の中、CoCo債市場は、ほぼ横ばいに推移しました。国別では英銀債等が上昇し、独銀債等が下落しました。

◎運用概況

為替ヘッジなしコースは、CoCo債のパフォーマンスおよび為替によるプラス寄与により、ファンドのパフォーマンスはプラスとなりました。

為替ヘッジありコースは、CoCo債のパフォーマンスはプラス寄与したものの、為替のヘッジコストが上回り、ファンドのパフォーマンスはマイナスでした。

ポートフォリオは欧州大手銀行債を中心に組み入れ、基本的な構成を維持しました。

◎今後の見通し

金融セクターへの投資は、依然として注目に値し、特に劣後部分であるCoCo債を含むハイブリッド証券は、その高い利回り水準に鑑み引き続き魅力のある投資対象と考えています。特に欧州の銀行は、当局から要求されている資本水準を既にほぼ満たしているため、ハイブリッド証券の新規発行はこの先は限定的となると考えられることから、テクニカル面で需給の改善がみられると考えております。

地域別では、米国よりも欧州の銀行により投資妙味があると考え、欧州への投資比率を引き続き高めに維持する方針です。また、欧州の銀行の中では、引き続きその国を代表するような大手銀行の発行する債券を中心に投資を行う予定です。

絶対スプレッドでは、現在のAT1スプレッドの平均は、2020年3月の下落以前に達したタイト化水準を150～200bp上回っており、スプレッドが縮小する余地は依然として残されていると考えております。さらに、COVID-19の影響により、規制当局は銀行セクターに対する姿勢を明確にすることを余儀なくされ、すべてが信用創造の観点からその重要性を強調しました。その後、規制上のハードルが緩和され、保証および猶予が与えられました。

2021年には、現在見えている良好なファンダメンタルズと比較しても、正常化し、大幅な回復が見込まれています。したがって、ファンダメンタルの観点から見ると、リスクに対する報酬は、特にAT1のみならず、今後セカンド・ティア債やシニア債にも引き続き魅力的であると考えています。

なお、引き続きCOVID-19の第3波の状況を慎重に見守る必要があると考えます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

- ハイブリッド証券の中でもCoCo債（Contingent Convertible Bonds：偶発転換社債）を中心に投資します。
- 当ファンドの主要投資対象である外国投資信託は、ハイブリッド証券への投資で豊富な経験のあるアルジェブリス（UK）リミテッドが運用を行ないます。
- 当ファンドが実質的に投資するハイブリッド証券は、グローバルな金融システムの安定に欠かせない、重要な金融機関であると認定されているG-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions、ジーシフィーズ）が発行するものを中心とします。

2. 「為替ヘッジなし」と「為替ヘッジあり」の2つのコースがあります。

- 「為替ヘッジなし」では、為替変動の影響を受け、円高時は為替差損となりますが、円安時には為替差益の獲得が期待できます。
- 「為替ヘッジあり」では、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。
※為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。
また、必ずしも為替変動リスクが完全に排除されるとは限りません。
なお、両通貨の金利水準によっては、為替ヘッジプレミアムとなる場合があります。
※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3. 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

- 主に、組入証券の利子・配当収益と値上がり益などを原資として、毎決算時に収益分配を行なうことをめざします。
- 毎月17日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2024年8月19日まで（2014年11月5日設定）
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ 英国証券取引所の休業日 ・ ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ ロンドンの銀行休業日 ・ ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u> ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 （金額指定で購入する場合） 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （口数指定で購入する場合） 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%（税込）で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額＝（10,000円／1万口）×100万口＝100万円、購入時手数料＝購入金額（100万円）×3.3%（税込）＝33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
--------	--

換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対し <u>年率1.785%（税抜1.69%）程度</u> が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.045%（税抜0.95%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.74%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主にハイブリッド証券を実質的な投資対象としますので、ハイブリッド証券の価格の下落や、ハイブリッド証券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・ハイブリッド証券の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化ならびに金利変動の影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、ハイブリッド証券の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・ハイブリッド証券は、普通社債に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

- ・ハイブリッド証券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、ハイブリッド証券の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

◆為替ヘッジなし

投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、当該資産の通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

◆為替ヘッジあり

投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

【ハイブリッド証券への投資に伴うリスク】

ハイブリッド証券には次のような固有のリスクがあります。

- ・ 一般に法的な弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。したがって、発行体の破綻時における残余財産の分配に関する権利は、普通社債の保有者に劣後します。このため、他の優先する債権が全額支払われない場合、元利金の支払いを受けられないリスクがあります。
- ・ 一般に繰上償還条項が付与されています。予定された繰上償還日に償還されないことが見込まれる場合などには、価格が大きく下落するリスクがあります。
- ・ 繰上償還された場合には、償還された金銭を再投資することになりますが、金利低下局面などにおいては、再投資した利回りが繰上償還されなかった場合の利回りより低くなる場合があります。
- ・ 発行体の財務状況や収益の悪化などにより利息や配当の支払いが減額、繰り延べまたは停止されるリスクがあります。
- ・ 将来、ハイブリッド証券に係る税制の変更やその他当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更などがあった場合には、税制上、財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下するなどの事由により当該証券市場が著しく縮小したり、投資成果に悪影響を及ぼしたりする可能性があります。
- ・ ハイブリッド証券の中でも主たる投資対象となるCoCo債においては、発行体の自己資本比率が一定水準を下回った場合や発行体が存続不可能にあると規制当局が判断した場合などのトリガーイベントが発生した際、CoCo債の元本の一部または全部が毀損する、または強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。その場合においては、その他の投資家よりも先にCoCo債の投資家が損失を負担する可能性があります。
- ・ トリガーイベントが発生した際に株式への転換条項が付されたCoCo債に投資している場合において、株式への転換価格は予め定められていない場合があるため、トリガーイベントが発生した際には損失が一旦確定されるとともに、株価変動リスクを負うこととなります。
- ・ また、トリガーイベントが発生した際に元本の一部または全部が毀損する条項が付されたCoCo債に投資している場合において、トリガーイベント発生後速やかに元本の一部または全部が毀損され、多くの場合、元本が回復される見込みはありません。

【業種の集中に関するリスク】

- ・ 当ファンドは金融機関が発行するハイブリッド証券を投資対象とするため、金融政策や規制当局の動向など金融セクター固有の要因によって基準価額が変動することがあります。また、発行体となる金融機関の経営不安、倒産、国有化等が生じた場合には、ハイブリッド証券の価格が大きく下落する可能性があり、このためファンドの基準価額が大きく値下がりすることがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

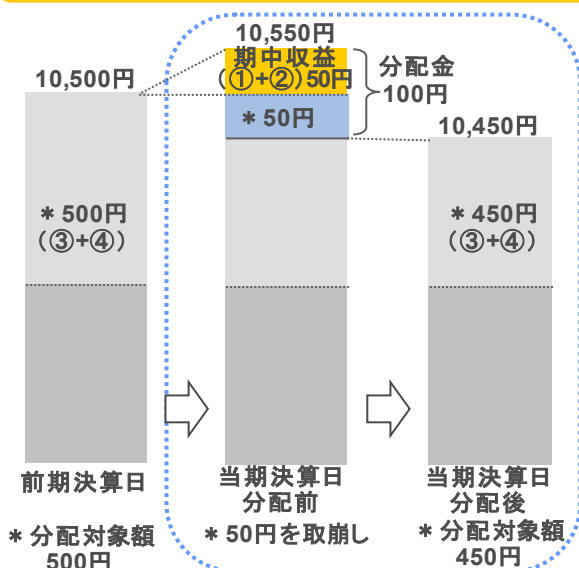
投資信託で分配金が支払われるイメージ



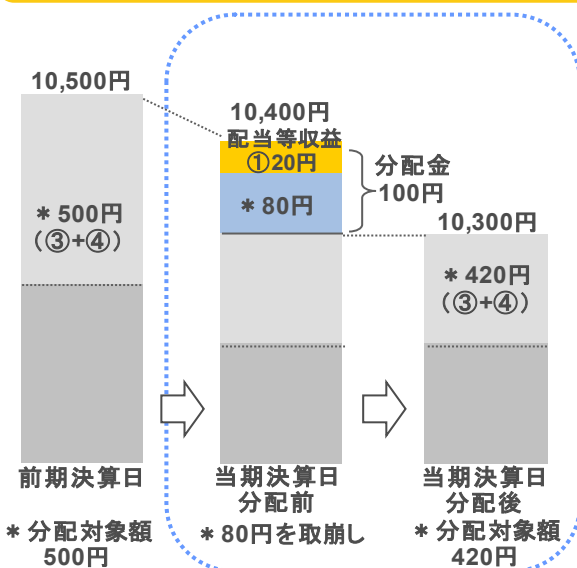
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



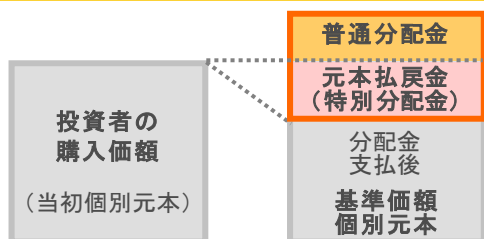
前期決算から基準価額が下落した場合



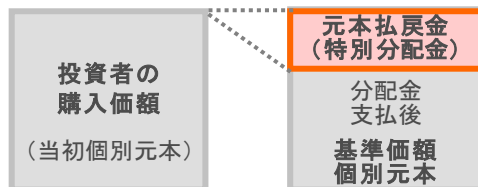
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

- 普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。